

第5次小平町社会教育  
中期計画メインテーマ

つなげよう 学びの心 輝く未来へ

目指す姿「笑顔が広がるまち」「共に学び合いができるまち」「豊かな心を育むまち」  
「心身ともに健やかなまち」「自立した活動ができるまち」



### 小平町児童生徒鑑賞事業 ひのき屋 わいわい音楽隊！

小平町教育委員会主催の小平町児童生徒鑑賞事業「ひのき屋わいわい音楽隊！」が、8月25日(水)午後1時半から文化交流センターで開かれ、小平小学校と鬼鹿小学校の児童と教員あわせて150人あまりが迫力ある演奏を楽しみました。出演者は、トラベリングバンドとして函館市を拠点に活動している男女4人ですが、今回は和太鼓、横笛、ギターの演奏、祭り囃子がベースの伝統曲を演奏し、伝統をベースにしながらも楽しく、そして新しい感性の楽曲の数々に子どもたちも大盛り上がり。

最後には、児童らもひのき屋のメンバーが演奏するねぶた祭りのリズムに「ラッセラー、ラッセラー」と掛け声を発しながら総立ちになって舞台のひのき屋メンバーと一体になって踊っていました。

児童らは最初から最後までステージと一体となって楽しい公演を満喫していました。



### 学社融合事業自然体験学習 「化石発掘体験」

学社融合事業の一環として、9月8日(水)と17日(金)の2日間にわたり化石発掘体験が行われました。8日には町内の小学校6年生28人が富岡の小椴子川で発掘体験を行いました。参加した児童らは、小椴子川から出る化石や地層の話、ハンマーの使い方や化石の掘り出し方の指導を受けながら化石の発掘に取り組み、新三世紀(約1200万年前)のホタテ貝(二枚貝)などの化石を見つけ、きれいに掘り出しては歓声をあげていました。

17日には、町内の中学校1年生27人が参加し、達布地区の上記念別沢で、白亜紀チューロニアン(約9000万年前)のアンモナイトやイノセラムス(二枚貝)などの化石の発掘に挑戦しました。生徒は化石を含むノジュールの見つけ方やアンモナイトについて職員から説明を受け、化石を探しました。生徒は川原に転がる石の中から化石を含むノジュールを見つけ、ハンマーでたたいたりして、化石を見つけていきました。今回はイノセラムスやアンモナイト、ツノガイの仲間を見つけることが出来ました。



### うちの子一番クラブ 「バス遠足 “くだもの狩り”」

9月16日(木)うちの子一番クラブ「バス遠足 “くだもの狩り”」が、増毛町の果樹園で行われ、幼児14人と保護者12人が参加しました。

当日は天気も良く、絶好のバス遠足日和となりました。参加者は増毛町までバスに揺られて、果樹園に着くと、早速親子でリンゴ、プラム、ブドウなどのくだもの狩りを行いました。幼児らは一番美味しいそうな果物を自分で取ったり、手の届かない果物をお母さんにとってもらったりして秋の味覚を堪能しました。

最後に、お母さんたちは果樹の日陰でくつろぎ、幼児らは果樹園遊びを満喫していました。

